華写す巻におしでの一このぎ 物: 合字。た刻( は、通もいき がのだよ ま20は し 数 両 経の ま巻典よ 枚両表常のだよ も面裏はを木う

とどけ」 みさの秋 時面枚れおさのこう法れcmさ発 代へごたられ状けバ華てほ約見 てほけ中 こ法 **直作厚片裏所化** ら経経作さらくがり 鎌木木成れ書一多、に 倉両1さて写東いバ 成さをか蔵財 さ1.5長らのに

幸しれ徳願塔た移に福、たがいの、行は、を死た一が功こし、 時た20 原者への記さる 原っての にない。 になっての になする。 けたと 両面 代 つて逆に、法華に 華経の功徳と習合なと説く写と記く写とによりなと考えらいると考えらいると考えらい かれています。ま は塔婆を強れていた 4 5 0 が登折 養と来世 やくし れること ま面 場本 年 ずる仕 10D 0

0) 民衆と法華経信仰~ 慈眼院のこけら経 5

中

レイクアルスタープラザ・ カワサキ歴史館いずみさの ☎469-7140 Fax469-7141

**休館日** 月曜日、毎月最終木 曜日(いずれも祝日の場合は 開館し、その翌日が休館)

## 開館時間

午前9時~午後5時 (入館は午後4時30分まで) 入館料 無料

の野▶ 民所 「こけら経 泉佐野市



より民衆社会への法華経流布が 対は、民衆からすれば現世に 特に守護勢力と根来寺の双方に 地理的にも経済的にも遠からぬ 地理的にも経済的にも遠からぬ とっては、法華 と来世の幸福を願う日根荘の と来世の幸福を願う日根荘の と来世の幸福を願う日根荘の と来せの幸福を願う日根荘の と来せの本福を願う日根荘の れ々 しょからに院

行の貴 法日が華蓮え ー経 経 発 登す ょす。 。 7 P お 布場 がに更

日本遺産・中世日根荘を巡る② ·旅引付編(12)「土丸・雨山城跡(後編)」



日本遺産

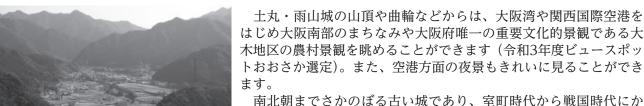
「日本遺産」に認定された「旅引付と二枚の絵図が伝 えるまち ―中世日根荘の風景―」のストーリーを構 成する泉佐野市の文化財等を紹介します。

問合先 文化財保護課



## **▲政基公旅引付**

※旅引付の写真 は、歴史館いず みさの所蔵の複 製を使用(原本 は宮内庁書陵部



けては和泉と紀伊の境目の重要拠点として、日本の歴史上おおきな 日根荘大木の農村景観 戦いの中で使用されました。

最初の城主は、日根野を拠点とする武士 日根野氏で、その後、南朝方で楠木一族の橋本正督(正高)が城 主となりました。

『政基公旅引付』にも戦乱から逃れようとした日根荘入山田村の人々が山にこもったり、家財を隠したりし たとの記述もたびたび登場しており、遺構や祭り、記録などから水と雨乞い信仰の場であり、村人が山に逃げ 込んだり身近に接したその山と戦いの場となった城郭が共存するいわゆる「人びとを守る山」 うことができる貴重な山城です。